

Ⅲ 都市生活基盤分野

《目標達成状況》

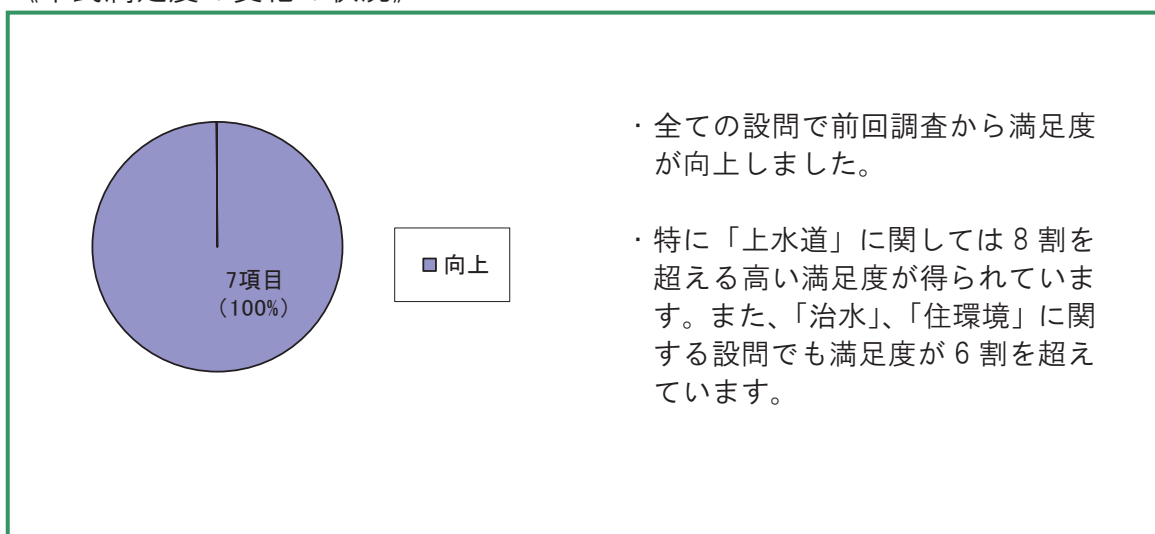
全体目標の平均目標達成率	115.1%
個別目標の平均目標達成率	95.6%
柱1 市街地整備	102.7%
柱2 道路	82.5%
柱3 公園緑地	114.2%
柱4 下水道	99.4%
柱5 治水	53.8%
柱6 住環境	96.6%
柱7 上水道	100.9%

※ 柱別の平均達成率は個別目標のみ集計

全体目標の平均目標達成率は、115.1%で目標達成している状況といえます。個別目標の平均目標達成率は95.6%で、その内訳は「柱1 市街地整備」関係が102.7%、「柱2 道路」関係が82.5%、「柱3 公園緑地」関係が114.2%、「柱4 下水道」関係が99.4%、「柱5 治水」関係が53.8%、「柱6 住環境」関係が96.6%、「柱7 上水道」関係が100.9%でした。

市街地整備や公園、水道施設などが整備され、安心して暮らしている状態にあるものの、治水、道路関係の柱は、90%に満たない達成状況であり、市民や市役所の今後の取り組みが必要です。

《市民満足度の変化の状況》



柱1 秩序と賑わいのある快適なまちづくり

◆主な取り組み

[個別目標①] 適正な都市計画により、秩序があり美しく、快適なまちづくりが行われている

(市民)

- ・建築など開発行為を行うときは地域の快適な環境を考えました。
- ・快適な景観を守るため違法広告をしませんでした。
- ・用地協力など都市計画道路の整備に協力しました。

(市役所)

- ・都市計画のしくみや制度について市民にわかりやすく説明し、理解を得ました。
- ・定めた都市計画に沿った適切な規制・指導を行いました。
- ・地域環境に配慮した質の高い都市計画道路を計画的に整備しました。
- ・都市計画道路などの整備について情報を提供しました。
- ・屋外広告物県条例に沿って許可、指導、規制を行いました。

[個別目標②] 魅力的で快適な市街地が整備され、多くの市民で賑わっている

(市民)

- ・環境美化活動など協働で実施するまちおこしに対して取り組みました。
- ・朝夕の交通混雑緩和のため自転車、バスなどの公共交通機関を利用しました。
- ・駅前広場やその周辺に不法駐車をしませんでした。
- ・駅周辺整備、活性化のあり方について、市役所と協力しました。

(市役所)

- ・朝夕の交通混雑を緩和するために駅前広場やその周辺道路の改善を図りました。
- ・朝夕の交通混雑緩和のため交通規制を公安委員会と協議しました。
- ・駅周辺のユニバーサルデザイン・バリアフリー化を推進しました。
- ・まちづくりについての情報公開やPR、住民活動支援のための啓発活動を実施しました。
- ・駅周辺の利便性を高める施策の検討を行い、その整備に努めるとともに、求められる中心市街地の活性化施策に取り組みました。
- ・中心市街地の活性化に取り組めるような体制づくりを各機関と連携しながら行いました。

[個別目標③] 土地区画整理事業などが行われ、快適な住環境で生活を送っている

(市民)

- ・土地区画整理事業について理解し、協力しました。
- ・建物移転に協力しました。

(市役所)

- ・土地区画整理事業の事業内容を積極的に公開しました。
- ・土地区画整理事業についての情報を公開しました。
- ・土地区画整理事業の進捗を図りました。

◆主な成果

- ・江南駅付近の交差点改良工事や交通規制の変更により、江南駅前広場を通過する車両が減少し、交通混雑が緩和されたこと。

◆主な今後の課題

- ・中心市街地の基盤整備を進め、商店街等の活性化につながる施策を進める必要があること。

柱2 人にやさしいみちづくり

◆主な取り組み

[個別目標①] 道路などの財産が適切に管理され、快適に利用している

(市 民)

- ・道路・河川に愛着をもち、積極的にアダプト活動に参加しました。
- ・目的地へスムーズに到達するために必要となる案内標識設置箇所を要望しました。

(市役所)

- ・広報でアダプト活動の紹介を行うことにより、道路・河川に愛着をもたせ、道路施設に対する意識の高揚を図りました。また、アダプトプログラム懇談会に出席し、参加者との交流を図るとともに、活動に係る課題や提案等について意見交換を行いました。
- ・目的地へ安全にスムーズに誘導するために必要となる案内標識設置箇所の洗い出しを行いました。

[個別目標②] 道路、橋りょう、排水施設が整備され、円滑な通行が確保されている

(市 民)

- ・区長等が主要市道及び道路の舗装を整備するように要望しました。

(市役所)

- ・主要市道上奈良千秋線及び小杣山尻線を整備しました。
- ・主要市道整備に係る道路用地を取得しました。
- ・区長等の要望に基づき舗装工事を実施しました。

◆主な成果

- ・より必要性の高い整備路線を選定することにより、効率的な道路整備を行うことができたこと。

◆主な今後の課題

- ・限られた財源において、計画的・効率的な道路整備を行う必要があること。

柱3 花と緑あふれる公園づくり

◆主な取り組み

[個別目標①] 都市公園等が整備され、日ごろから公園に歩いて行き、うるおいのある生活をしている

(市民)

- ・公園などの公共空間を快適に利用できるよう心がけました。

(市役所)

- ・国営木曾三川公園フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)の整備を進めるよう国に働きかけ、市民1人当たりの公園面積を増やすよう取り組みました。

[個別目標②] 都市緑化が推進され、うるおいとゆとりのある生活を送っている

(市民)

- ・国営木曾三川公園フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)などの活動を通じて、緑化意識を向上しました。
- ・自然に触れ合うことにより、緑化意識の向上を図りました。

(市役所)

- ・緑化施設整備や花いっぱい運動を推進しました。
- ・花いっぱいコンクールなどを実施し、市民の緑化意識向上を図りました。

[個別目標③] 地域で維持管理される公園・緑地等が増え、適切に利用されている

(市民)

- ・公園や緑地の維持管理に積極的に参加しました。
- ・公園施設の異常箇所などの情報を提供しました。

(市役所)

- ・地域住民の協力を得て、愛される施設となるよう区長や町総代などと協議を進めました。

◆主な成果

- ・国営木曾三川公園フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)の開園区域拡大により、市民1人当たりの都市公園面積が増えたこと。

◆主な今後の課題

- ・花いっぱい運動や花のコンクールを、より多くの人に参加出来る魅力あるものにする必要があること。
- ・今後の都市公園の整備については厳しい状況にある中、江南市緑の基本計画において定める基本方針に沿って整備進めると共に、国営木曾三川公園フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)の用地交渉の協力と整備について要望活動を行う。

柱4 公共下水道の普及促進

◆主な取り組み

[個別目標①] 下水道使用料、受益者負担金の収納率が向上し、健全で安定した下水道事業が運営されている

(市民)

- ・供用開始説明会に参加しました。
- ・下水道使用料、受益者負担金の期限内納付に努めました。

(市役所)

- ・下水道使用料、受益者負担金を理解していただくため供用開始説明会を開催しました。
- ・下水道事業の健全で安定した経営に努めました。

[個別目標②] 下水道が整備され、生活環境が向上している

(市民)

- ・自然環境への効果など、下水道の役割、必要性の理解を深めました。
- ・下水道工事の説明会に参加しました。
- ・下水道の埋設工事に理解し協力しました。
- ・下水道が整備されたら速やかに接続をしました。

(市役所)

- ・下水道接続の啓発を行いました。
- ・市民の理解を得るため、工事説明会を開催しました。
- ・下水道工事期間の短縮に努めるなど、沿線住民への配慮に努めました。

◆主な成果

- ・新たに15.2haの区域を整備し、下水道を使える区域にしたこと。

◆主な今後の課題

- ・全国平均と比べると依然として大きく遅れている下水道普及率を向上させる必要があること。

柱5 浸水被害のないまちづくり

◆主な取り組み

[個別目標①] 河川等の改修整備と雨水抑制機能が強化され、浸水被害が軽減している

(市民)

- ・一定の開発行為に対して、雨水貯留浸透施設を設置しました。

(市役所)

- ・準用河川般若川を般若川調節池まで改修しました。
- ・雨水浸透枿の設置率が低いため、補助制度を見直し、新たに雨水貯留浸透施設設置費補助制度をスタートしました。

◆主な成果

- ・効率的、効果的な治水対策の推進を図るため、第3次江南市総合治水計画を策定したこと。

◆主な今後の課題

- ・第3次江南市総合治水計画の目標を実現する手法を具体的に考える必要があること。
- ・雨水抑制に対する補助の対象が雨水浸透枿のみから、雨水貯留槽、透水性舗装、浸透トレンチと補助の種類が増えたことを広報やホームページなどを通して、広く市民にPRし、浸透貯留施設と浸水防止施設の普及に努める必要があること。

柱6 安心・安全な住環境の確保

◆主な取り組み

[個別目標①] 建築指導及び開発指導の民間組織との協働での取り組みは、安心・安全への住民意識を高揚させている

(市民)

- ・地震防災に関心を持ち、地震防災の知識習得に努めました。
- ・各家庭で、地域社会の安心・安全な環境づくりに貢献できる人づくりを行いました。

(市役所)

- ・専門的知識を有する技術者による開発指導、建築指導を行いました。
- ・耐震診断の実施について、市民や専門家との協働により、耐震に関する情報提供、耐震化の啓発を行いました。

[個別目標②] 市営住宅は、住民による施設運営への参加により、安心・安全な生活環境が確保されている

(市民)

- ・入居者は積極的に施設の共用部分の清掃など維持管理を行いました。
- ・入居者、管理人は修繕すべき箇所の報告等を行いました。

(市役所)

- ・施設点検や入居者、管理人からの連絡により適切な維持修繕を行い安心・安全な住環境を提供しました。
- ・市営住宅の安全・安心な提供を行うため、計画的な設備修繕を行いました。

◆主な成果

- ・民間組織と協働して建築確認を行ったこと。

◆主な今後の課題

- ・耐震化の必要な木造住宅について、耐震化に向けて更なる意識啓発に努める必要があること。

柱 7 健全な水道事業経営と安全な水の安定供給

◆主な取り組み

[個別目標①] 水道事業が適正に運営され、健全な経営が行われている

(市 民)

- ・水道料金を速やかに支払いました。

(市役所)

- ・市民のライフスタイルの多様化に伴い、時間や曜日に関係なく払い込みのできるコンビニ収納を実施し、収納機会の拡大を図りました。

[個別目標②] 水道施設が整備され、安定した水道水が供給されている

(市 民)

- ・配水管路の水圧、水量不足等の情報を提供しました。
- ・限りある資源を有効活用するため、速やかに宅内の漏水を修理しました。

(市役所)

- ・水道水を安定供給するため、老朽化した水道施設を計画的に整備しました。
- ・建物や配水池等の耐震診断、耐震補強工事設計を実施しました。

◆主な成果

- ・給水収益は減少傾向にあるものの、事務の合理化・効率化を図り、健全で安定した水道事業の経営を行ったこと。

◆主な今後の課題

- ・社会情勢の変化や住民ニーズの高度化・多様化に伴い、引き続き健全で安定した水道事業の経営を行なう必要があること。

まちづくり評価シート

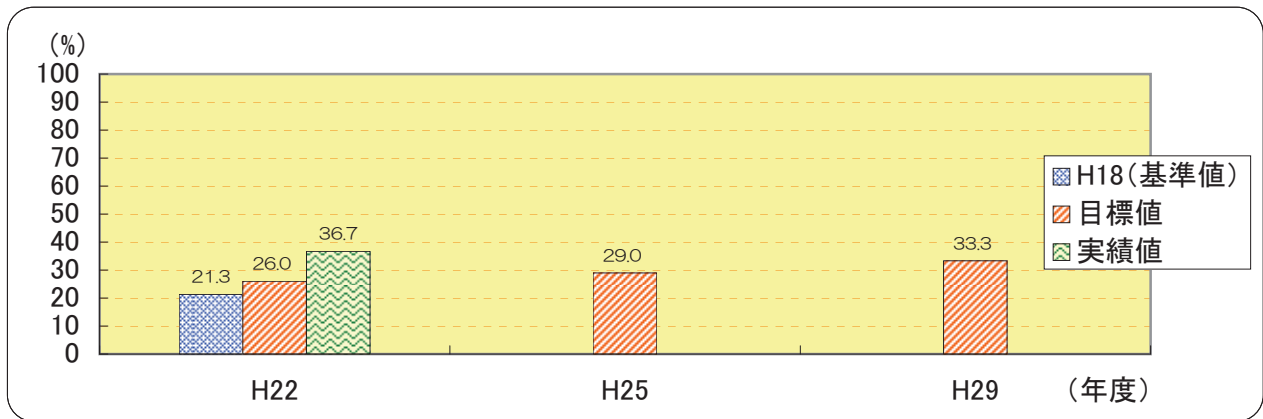
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

まちづくり課【担う柱:1 秩序と賑わいのある快適なまちづくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 秩序ある都市計画により、美しく賑わいのあるまちで生活している

指標名	秩序ある、美しいまちなみが形成されていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析
目標値	%	—	26.0	江南駅のバリアフリー化、交通環境改善事業実施や、布袋駅の鉄道高架及び土地区画整理の進捗率が上がったため。
実績値	%	21.3	36.7	
達成率	%	—	141.2	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

市民のニーズを把握し施策を遂行することで、市民満足度が上がると思われるため、積極的に地元関係者との意見交換の場を持つことが必要である。

個別目標① 適正な都市計画により、秩序があり美しく、快適なまちづくりが行われている

指標名	都市計画道路の整備率					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	64.9	65.1	65.1	・都市計画道路整備事業(江南岩倉線)
実績値	%	64.5	64.9	65.4	65.8	
達成率	%	—	100.0	100.5	101.1	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	地元住民への周知や工事協力を依頼し、問題点について協議した。
市役所	工事中の安全確保や、工事の速やかな完了を検討し整備を行った。


目標達成のための今後の展開方針




生産緑地指定された土地所有者に対して、適切な管理を促す。
 宅地開発申請等の事前協議において、適切な指導を行う。
 市民に理解されるような、計画的な都市計画道路の整備を進める。
 地元説明を十分に行ない都市計画道路の整備計画をたてる。


個別目標に対するまちづくり評価

時代のニーズに合った街づくりを進めるため、地元組織との調整を心がけてほしい。
 街づくりは目先の計画ではなく、将来を見据えた計画で進めてほしい。

個別目標② 魅力的で快適な市街地が整備され、多くの市民で賑わっている

指標名	駅前や市街地が整備され、人々が集い賑わっていると感じる市民の割合					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	—	—	13.0	・交通結節点整備事業 ・江南駅バリアフリー化対策事業 ・江南駅周辺交通環境改善事業 ・バリアフリー施設整備事業 ・布袋駅付近鉄道高架化整備事業
実績値	%	8.8	—	—	15.0	
達成率	%	—	—	—	115.4	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	駅前広場等の交通結節機能が整備され利便性が向上し、これらが利用された。					
市役所	駅前広場等の交通結節機能の整備を行い、利用者の利便性を向上させた。					




指標名	江南駅・布袋駅の1日乗降客数					
	単位	H17 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	33,800	33,800	33,800	・交通結節点整備事業 ・江南駅バリアフリー化対策事業 ・江南駅周辺交通環境改善事業 ・バリアフリー施設整備事業 ・布袋駅付近鉄道高架化整備事業
実績値	人	33,800	33,446	32,449	32,566	
達成率	%	—	99.0	96.0	96.3	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	公共交通機関を積極的に利用した。					
市役所	江南駅のバリアフリー化の促進について、地元の理解を得ながら、整備を進めた。また、布袋駅の高架化を地元と協議をしながら整備を進めた。					

指標名	江南駅前広場を通過する車両の台数					
	単位	H17 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	台	—	8,800	7,400	6,000	・交通結節点整備事業 ・江南駅周辺交通環境改善事業
実績値	台	8,800	—	6,544	—	
達成率	%	—	—	113.1	—	
達成状況	—	—	—		—	
取り組みの状況						
市民	駅利用と関係ない車両は、駅前広場に流入しない道路を利用することにより駅前広場へ進入しなくなった。					
市役所	駅利用と関係ない車両は、駅前広場に流入しないための周辺道路を整備することにより駅前広場への進入を減少させた。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>交通結節機能整備による即効的な効果も考慮し、段階的な整備を検討する。 面的な開発が推進されるよう市街地開発事業を促進する。 地元住民によるまちづくり活動が活性化されるよう必要な支援を検討する。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>高齢社会にも対応できるよう、特に鉄道駅付近については、引き続き駅前広場等の交通結節機能整備を続けていただくとともに、面的な整備が推進されるような施策を検討いただくことで、市民にとって利便性の高い地区にすることが街の活性化につながっていくと思われまます。 基盤整備等の完成には長い時間を要するので、速効性のある整備を検討し進めていただきたい。</p>	

個別目標③ 土地区画整理事業などが行われ、快適な住環境で生活を送っている

指標名	土地区画整理事業の移転件数					
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	155	180	183	・物件移転補償事業 ・道路・排水路等整備事業
実績値	件	126	161	174	179	
達成率	%	—	103.9	96.7	97.8	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	土地区画整理事業を理解し、物件移転及び道路築造工事等に協力をした。					
市役所	土地区画整理事業の情報を提供し、物件移転及び道路築造工事等を推進した。					

目標達成のための今後の展開方針

事業の完了に向け、物件移転等に対して関係者により一層の理解と協力を得ながら事業を進める。

個別目標に対するまちづくり評価

事業の推進には関係者の理解と協力が不可欠であるので、行政からのより積極的な事業の説明、情報の提供に心がけてほしい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

快適で便利な市街地整備を進めるために、都市計画道路の安心安全な交通を目指し整備を行っているが、限られた財源の中で国の補助を受け行うことができた。

駅前交通混雑を緩和するために、平成20年度に行った駅周辺の道路整備を受け、平成21年度に調査結果として交通渋滞の緩和に結びつく結果がでた。

◆柱全体の今後の課題

駅前や市街地に人々が集い賑わっていると感じる市民の割合については、市民満足度調査によれば目標値には近いものの、今後も中心市街地の基盤整備を始め、商店街等の活性化に繋がる施策を進めることが必要である。

都市計画道路の整備率については、全国レベルからすると遅れている現状であるため、今後も計画的に進める必要がある。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

街の賑わいを取り戻す全体目標が達成されるよう、関係課及び市民団体等との調整を行い効率的な施策の検討を行う。

まちづくり評価シート

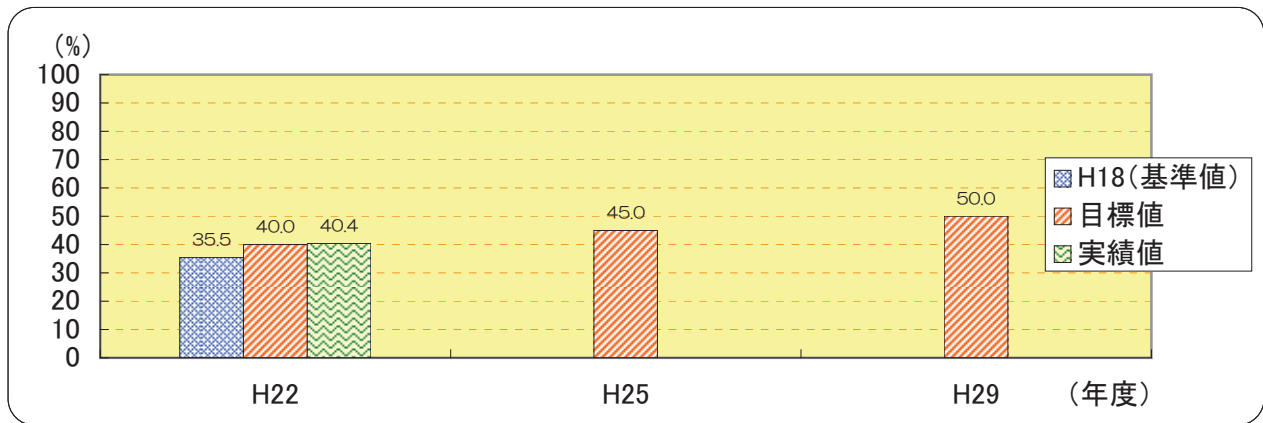
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

土木建築課【担う柱:2 人にやさしいまちづくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 道路が整備され、人や車が安全・快適に通行している

指標名	道路が整備され人や車が安全・快適に通行していると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析
目標値	%	—	40.0	市民が日常的に利用する生活道路を地元等の要望を基に整備したことにより、市民の満足度が得られたと考えられる。
実績値	%	35.5	40.4	
達成率	%	—	101.0	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価




道路が整備され、人や車が安全・快適に通行していると感じる市民の割合が、平成22年度の目標値40.0%と同値の40.4%の実績値を得たことは評価できる。今後は、更に実績値を上回るように施策を進めることをお願いしたい。

個別目標① 道路などの財産が適切に管理され、快適に利用している

指標名	市道のアダプト制度の登録者数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	256	420	583	・アダプト・プログラム事業
実績値	人	175	410	409	329	
達成率	%	—	160.2	97.4	56.4	
達成状況	—	—	☀	☀	↑	

取り組みの状況




市民	道路・河川に愛着をもち、積極的にアダプト活動に参加した。
市役所	広報でアダプト活動の紹介を行うことにより、道路・河川に愛着をもたせ、道路施設に対する意識の高揚を図った。アダプトプログラム懇談会に出席し、参加者との交流を図るとともに、活動に係る課題や提案等について意見交換を行った。




指標名	道路案内標識設置数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	基	—	59	61	75	・道路側溝・舗装工事等事業
実績値	基	55	55	55	57	
達成率	%	—	93.2	90.2	76.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	目的地へスムーズに到達するために必要となる案内標識設置箇所を要望した。					
市役所	目的地へ安全にスムーズに誘導するために必要となる案内標識設置箇所の洗い出しを行った。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>広報こうなん等でPRを行い、アダプトプログラムの登録者数の増員を図っていくとともに、懇談会でいただいた課題や提案等を関係各課と情報を共有し、今後の運営に活かしていく。</p> <p>道路案内標識の設置数については、平成18年度から平成21年度はその期間に新たな道路及び公共施設の建設が無く、案内標識を設置する必要がなかったことから55箇所のままであるが、平成22年度については、都市計画道路木賀線が開通したことにより、2箇所設置した。今後は市内の交通量も増える状況のなか、道路が分かりにくいと言う声もあるため、道路案内標識の整備を進めるとともに、交差点名の表示の設置にも努めてまいります。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>道路美化に対する認識は高まってきたと思われる。より認識を高めるために、引き続きアダプト制度のPRをお願いしたい。また、登録者の提案等を十分把握し、より活動しやすい環境づくりに努めていただきたい。</p> <p>施設名称の変更に伴う案内標識の整備は行われたと思われる。今後は目的地にスムーズに辿り着けるように道路案内標識の設置をお願いしたい。</p>	

個別目標② 道路、橋りょう、排水施設が整備され、円滑な通行が確保されている

指標名	主要市道の歩道整備率					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	67.0	68.0	69.0	・道路新設改良事業(市道上奈良千秋線) ・道路新設改良事業(市道後飛保和田線)
実績値	%	65.1	65.9	66.2	66.7	
達成率	%	—	98.4	97.4	96.7	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	区長等が歩道を整備するように要望した。 地権者が用地買収に応じた。					
市役所	市道上奈良千秋線を延長159m整備した。 市道後飛保和田線の用地取得のため、用地交渉を行い道路用地を取得した。					

指標名	舗装整備率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	89.5	90.0	91.0	・道路側溝・舗装工事等事業
実績値	%	89.1	89.2	89.1	91.7	
達成率	%	—	99.7	99.0	100.8	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	区長等が舗装を整備するように要望した。					
市役所	区長等の要望に基づき舗装工事を実施した。					

目標達成のための今後の展開方針	
早急に整備が必要な路線を選定し、計画的に整備する。	

個別目標に対するまちづくり評価	
主要市道の歩道整備・舗装整備については、一定の成果がでているので評価できる。住民説明会等を開催するなどして、市民の声を取り入れた計画を実施していただきたい。	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果
アダプトへの参加を市民にPRすることにより、地域の道路・河川などに愛着をもたせ、環境美化に対する認識は高まってきたと思われる。 限られた財源の中で、より必要性の高い整備路線を選定することにより、計画的、効率的な道路整備を行うことができました。

◆柱全体の今後の課題
道路が整備され人や車が安全・快適に通行していると感じる市民の割合は、市民満足度調査によれば半分にも満たない約40.0%という結果である。 市民が日常的に利用する生活道路の安全性、利便性の向上に対するニーズが高まっていることを踏まえ、限られた財源において、より計画的、効率的な道路整備を行うことが大きな課題となる。そのためにも、職員の意識の向上が求められるとともに、より質の高いサービスを提供するためにも、財源などの確保が必要になる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性
人にやさしいみちづくりの早期実現を目指し、限られた資源により最大限の効果が得られるよう常に心がけて取り組む。 そのためにも、市民がみちづくりに積極的に参加してもらえるよう関係課との調整を行い、また市民の声を聞く機会を充実させ、その声を効率的に反映するように日常的なパトロールの強化に努める。


まちづくり評価シート

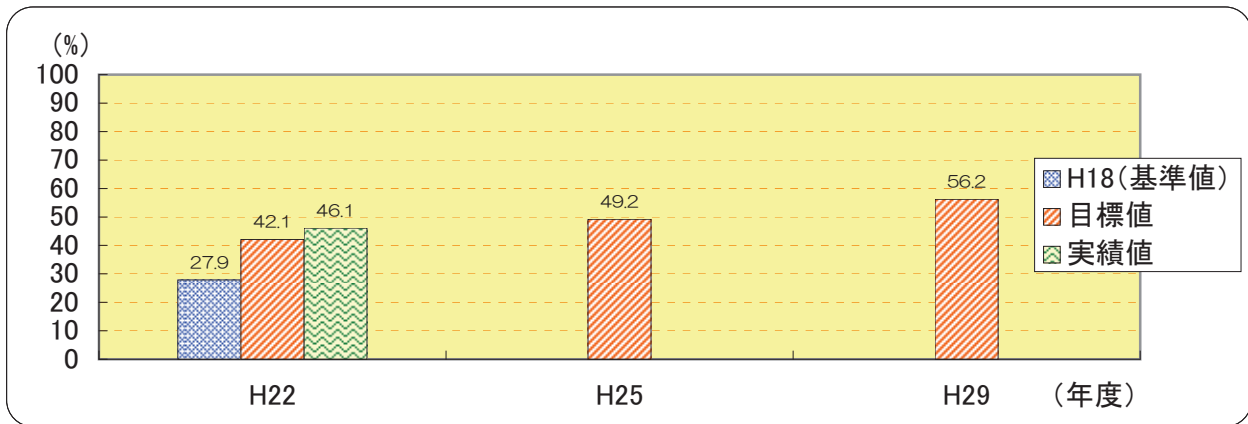
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

まちづくり課【担う柱:3 花と緑あふれる公園づくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 公園などが整備され、ゆとりとうるおいのある生活を送っている




指標名	ゆとりとうるおいのある生活を送っていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析
目標値	%	—	42.1	国営木曾三川公園フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)が平成19年10月に開園したことが、実績値に大きく影響したと考えられる。
実績値	%	27.9	46.1	
達成率	%	—	109.5	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価

平成18年以降、曼陀羅寺公園整備や高屋西町公園整備、市営住宅跡地を利用した広場整備などを実施してきたが、国営木曾三川公園フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)の開園が実績値に大きく影響していると思われる。国営木曾三川公園フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)は平成19年10月に開園して以来、平成22年4月までに3回、開園区域が拡大されてきたが、今後については2期エリアの用地取得や国の厳しい事業予算の状況などから、早期の継続的な開園区域拡大が難しい中、国への用地交渉の協力や整備要望を行ってほしい。また、市の公園整備計画においても用地確保や財源の確保等課題のある中、江南市緑の基本計画に沿った地域格差の解消に向けた公園整備に取り組んでいただきたい。

個別目標① 都市公園等が整備され、日ごろから公園に歩いて行き、うるおいのある生活をしている

指標名	市民1人当たりの都市公園面積					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	m ²	—	2.75	2.97	3.20	・花の広場整備事業 ・木曾川上流域整備促進事業
実績値	m ²	2.52	3.43	3.46	3.65	
達成率	%	—	124.7	116.5	114.1	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	花の広場の維持管理の一部を地元が行なった。
市役所	広場の整備でバリアフリー化に努めた。 国営木曾三川公園フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)の整備を進めるよう国に働きかけた。




目標達成のための今後の展開方針

江南市緑の基本計画に沿った計画的な都市公園の整備を進めると共に、国営木曾三川公園フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)の用地交渉の協力と整備について要望活動を行なう。

個別目標に対するまちづくり評価

公園は子供たちの遊びの場の提供ばかりでなく、大人の憩いの場としても大変有効であるので、限られた資源を活用しながらではあるが計画的な都市公園の面積の拡大をお願いしたい。

個別目標② 都市緑化が推進され、うるおいとゆとりのある生活を送っている

指標名	花いっぱい運動実施箇所数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	箇所	—	25	26	27	・緑化推進事業
実績値	箇所	25	27	32	32	
達成率	%	—	108.0	123.1	118.5	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	花いっぱい運動に協力して花の苗の植栽、水やり、雑草の除去などを行なった。					
市役所	花の苗と必要に応じて培養土や肥料を配付した。					




目標達成のための今後の展開方針

花いっぱい運動については、配付する花の苗の種類を検討して活性化を図る。
花のコンクールについては、より多くの人に応募できるような魅力あるものにするよう検討する。
国営木曾三川公園フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)については、開園区域の拡大に伴い、より多くの人に参加できるようなイベントが開催できるよう努力する。

個別目標に対するまちづくり評価

花いっぱい運動については目標以上の運動実施箇所が維持されており、ある程度評価はするが、毎年決まった花の配付が続いているため、花の苗の種類を検討して活性化を図るべきである。
花のコンクールについては、より多くの人に応募できるような魅力あるものにするよう検討していただきたい。
国営木曾三川公園フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)については、開園区域の拡大に伴い、より多くの人に参加できるようなイベントが開催できるよう努力する必要がある。

個別目標③ 地域で維持管理される公園・緑地等が増え、適切に利用されている

指標名	地域で管理されている公園緑地などの数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	箇所	—	28	29	30	・公園等維持管理事業
実績値	箇所	28	32	33	33	
達成率	%	—	114.3	113.8	110.0	
状況	—	—				

取り組みの状況

市民	地元で整備される公園や既に供用開始している公園などの清掃が区民でできないか検討した。
市役所	整備される公園や既に供用開始している公園などの清掃が地元区でできないか協議した。

目標達成のための今後の展開方針

新規に設置する公園等については、地元で清掃委託できるよう地元区と協議を進めながら整備をする。既存で地元で清掃委託できるよう地元の意向を確認しながらお願いする。

個別目標に対するまちづくり評価

地域で管理されている公園緑地の数は目標を大きく超えている結果であるが、今後ともコスト面からも努力されたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

国営木曾三川公園フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)の開園区域拡大に伴って、市民一人当たりの都市公園面積が増大した。都市公園面積には影響しないが、身近な広場として市営住宅跡地を広場として整備した。また、高屋地区に流れる排水路の改築に合わせ、その上部を緑化施設として整備した。広場整備する際や地元で清掃等を委託している公園などに花壇を設け、地元で花いっぱい運動の協力を得ることによって花いっぱい運動実施箇所を増やすことが出来た。整備した広場の清掃等を地元で委託できた。

◆柱全体の今後の課題

今後の都市公園の整備については厳しい状況にある中、平成22年度に策定した江南市緑の基本計画において定める基本方針に沿って整備を進める必要がある。花いっぱい運動については、魅力ある花の苗を選定して運動の活性化を図る必要がある。花のコンクールについては、より多くの人々が参加できるものにしていく必要がある。新規に設置する公園等については、地元で清掃委託できるよう地元区と協議を進めながら整備していく必要がある。既に供用開始している公園等についても地元で清掃委託できるよう地元の意向を確認しながらお願いする。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

今後の都市公園の整備については、江南市緑の基本計画において定める基本方針に沿って整備を進めると共に、国営木曾三川公園フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)の用地交渉の協力と整備について要望活動を行なう。花いっぱい運動については、魅力ある花の苗を選定して運動の活性化を図る。花のコンクールについては、より多くの人々が参加できるものにする。新規に設置する公園等については、地元で清掃委託できるよう地元区と協議を進めながら整備する。既に供用開始している公園等についても地元で清掃委託できるよう地元の意向を確認しながらお願いする。

まちづくり評価シート

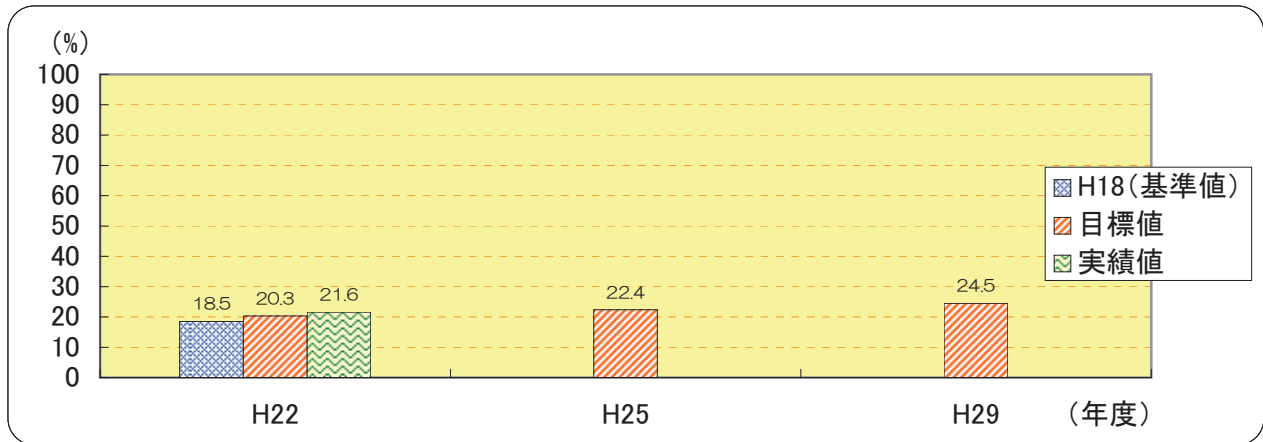
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

下水道課【担う柱:4 公共下水道の普及促進】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 下水道が整備され、快適な水環境の下で生活している

指標名	下水道普及率			実績値の分析 市民の清潔で快適な生活環境の向上のため下水道整備促進に努めた。
	単位	H18 (基準値)	H22	
目標値	%	—	20.3	
実績値	%	18.5	21.6	
達成率	%	—	106.4	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

下水道普及率は21.6%で目標値を達成することができているが、県下水道普及率72.0%に比べると大きく遅れており、下水道普及率を向上してもらいたい。

個別目標① 下水道使用料、受益者負担金の収納率が向上し、健全で安定した下水道事業が運営されている

指標名	下水道使用料の収納率(現年度)					主な事務事業 ・下水道使用料賦課徴収事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	↑	↑	↑	
実績値	%	98.9	98.5	98.8	99.0	
達成率	%	—	99.6	99.9	100.1	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	

取り組みの状況




市民	下水道使用料を納付した。
市役所	下水道使用料のコンビニ収納を導入し、納付機会の拡大により納付者の利便性を高めながら納期内納付を推進し収納率の向上を図った。

指標名		受益者負担金の収納率(現年度)				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	・受益者負担金賦課徴収事業
実績値	%	98.8	98.8	98.6	97.8	
達成率	%	—	100.0	99.8	99.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	下水道受益者負担金を納付した。					
市役所	受益者負担金の徴収及び啓発活動に努めた。					

目標達成のための今後の展開方針	
水道課と調整を図りつつ給水停止実施の強化の体制をとる等、収納率の向上を図る。	
個別目標に対するまちづくり評価	
下水道使用料、受益者負担金の適切な徴収は、事業の健全な経営及び住民間の公平性の確保につながる。今後もさらなる取り組みをお願いしたい。	

個別目標② 下水道が整備され、生活環境が向上している

指標名		認可区域内の整備率				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	73.2	76.5	79.0	・管きよ布設事業
実績値	%	66.3	73.2	76.5	80.2	
達成率	%	—	100.0	100.0	101.5	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	下水道工事説明会に参加し、埋設工事に対し理解した。					
市役所	整備地区の全世帯を対象に工事説明会を開催し、説明用資料をプロジェクターを用いてスクリーンに映像として映し出し、視覚的にも解りやすく説明を行った。 期間の短縮、工事の施工時期の分散による集中化を回避する等、沿線住民に配慮して工事を施工した。					

指標名		供用開始区域内の接続率				主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	75.2	79.1	83.0	・排水設備関連事業
実績値	%	67.3	75.4	78.2	80.4	
達成率	%	—	100.3	98.9	96.9	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	自然環境への効果等下水道の役割、必要性の理解を深めた。排水設備等計画確認申請を行った。					
市役所	職員が未接続宅を個別訪問し、下水道の必要性を説明し、早期の接続依頼を行った。排水設備の書類審査と完了検査を行い、補助金を交付した。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>上位計画等の変更に併せて基本計画の見直しを図り、未普及地域の早期解消のため費用対効果の高い整備手法を重点に整備を進める。</p> <p>今後もお一層、供用開始後未接続宅の早期接続を促すため、早期戸別訪問を実施する。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>江南市下水道は、五条川右岸流域下水道事業として進められ、他の構成市町の事業進捗も考慮し、事業を進めていく必要があります。厳しい財政状況下ではありますが、下水道事業には特別な配慮が必要と考えます。下水道事業は、都市基盤施設のひとつであり、河川環境の保全を第一の目標としています。環境問題が高まる中、市民の環境への意識も高まりつつあり、早期に事業を進める必要があると考えます。</p>	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果
<p>平成22年度においては、15.2haの区域を整備し、平成23年4月1日現在346.4haが下水道を使える区域となっております。</p>

◆柱全体の今後の課題
<p>下水道普及率の達成率が106.4%で目標を若干超えることができたが、依然、江南市下水道普及率21.6%は、県下の供用開始市町において下位となっており愛知県の平成22年度末の普及率72.0%(名古屋市を除くと60.4%)や、全国平均の75.1%(平成22年度末)と比べると大きく遅れております。</p>

◆柱全体の今後の取り組みの方向性
<p>平成22年度末江南市下水道普及率21.6%は、県下の供用開始市町において下位となっており、愛知県の平成22年度末の普及率72.0%(名古屋市を除くと60.4%)や、全国平均の75.1%(平成22年度末)と比べると大きく遅れております。こうした中事業の進捗を図るため、平成21年度に行った基本計画の変更により図ることができたコスト削減効果を活用し、費用対効果の高い整備手法を用いた整備を推進し、下水道普及率を向上したい。</p>


まちづくり評価シート

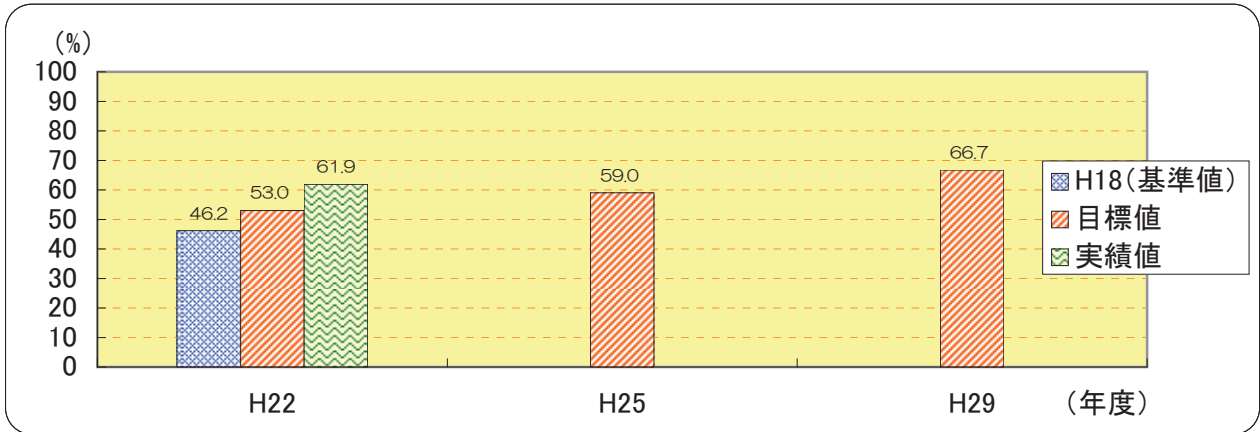
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

土木建築課【担う柱:5 浸水被害のないまちづくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 河川等が整備され浸水被害に遭うことがなく、安心して暮らしている


指標名	河川が整備され、安心して暮らしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析
目標値	%	—	53.0	大きな水路改修はしていないが、市民に対する浸水対策や、雨水浸透施設設置補助を見直したこと、総合治水計画を改訂したことなどが、評価され、目標値を上回ったと考える。
実績値	%	46.2	61.9	
達成率	%	—	116.8	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価

平成22年3月に江南市における今後の効率・効果的な治水対策の推進を図るため、河川・排水路対策・流域対策及び浸水被害軽減対策等を含めた総合的な第3次江南市総合治水計画を策定したことで、これから具体的にどのように計画を実行していくのかが、この先の評価に現れると考える。また、新たな項目を加えて、見直した雨水浸透施設設置補助制度を市民の方に周知してもらいたい。


個別目標① 河川等の改修整備と雨水抑制機能が強化され、浸水被害が軽減している

指標名	準用河川般若川改修率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	92.0	92.0	92.0	・準用河川般若川改修事業
実績値	%	86.0	92.0	—	—	
達成率	%	—	100.0	—	—	
達成状況	—	—		—	—	

取り組みの状況

市民	
市役所	市道江南岩倉線下流部が尾張農林事務所が施工する区間となっているが、ここを改修しないと市の部分だけを改修しても効果がないので、尾張農林事務所に施工要望をした結果、工事実施設計が行われた。

指標名		雨水浸透柵設置率				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業 ・雨水抑制事業
目標値	%	—	17.0	19.0	21.0	
実績値	%	12.2	8.0	9.0	7.0	
達成率	%	—	47.1	47.4	33.3	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	
取り組みの状況						
市民	補助金制度を利用して雨水浸透柵を設置した。					
市役所	広報を通じて広く啓発を促したり、建築確認の段階で雨水浸透柵を設置していない建築主に、設置のお願い文書を出した。					

指標名		雨水浸透施設設置補助金申請件数				
	単位	H21 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業 ・雨水抑制事業
目標値	件	—	—	—	70	
実績値	件	45	—	—	52	
達成率	%	—	—	—	74.3	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	雨水浸透柵103個、浸透トレンチ管30m、雨水貯留槽9基、透水性舗装485㎡、浸水防止施設5mを設置した。					
市役所	雨水浸透施設(雨水浸透柵、透水性舗装、雨水貯留槽、浸透トレンチ)を設置するお願いを江南市水道工事店協同組合、江南市災害協力会、行政士会、建築士会、江南市建設業協会等へ行った。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>準用河川般若川改修率をあげるため、未改修区間を実施できるよう関係機関等と協議してさらに検討していく。雨水浸透施設の中でも特に、家の新築、改築に影響を受けない雨水貯留槽の設置に力を注いでいく。具体的には、市が広報、ホームページに掲載することは従来どおりであるが、品物(雨水タンク)を販売する量販店(ホームセンター、農協等)にも協力を求め、市民の設置率を上げる。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>引き続き関係機関に強く要望し、準用河川般若川改修率を92.0%から100.0%になるよう努力していただきたい。</p> <p>雨水流出抑制において、新たな制度において、スタートしたばかりとはいうものの、雨水浸透柵以外の設置者が少数なので、今後周知を徹底させ、設置者が増加するよう努力されたい。</p>	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

一定の期間内で効率・効果的な浸水被害の軽減を図るため、市域全体から重点的な施設整備が必要と考えられる地区(重点地区)を選定し、重点地区における目標設定を行い、目標を実現するために、「第3次江南市総合治水計画」を策定した。また、雨水浸透施設設置費補助金交付要綱を改正し、対象施設を増やし、より市民が利用しやすい補助金制度とした。

◆柱全体の今後の課題

第3次江南市総合治水計画を軸にどのような手法で治水対策を具体的に実現していくかが、課題となっていく。雨水抑制に対する補助の対象が雨水浸透柵のみから、雨水貯留槽、透水性舗装、浸透トレンチと補助の種類が増えたことを広報やホームページなどを通して、広く市民にPRし、浸透貯留施設と浸水防止施設の普及に努めなければならない。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

第3次江南市総合治水計画で示している重点地区のなかで、緊急度の高い地区から順に雨水貯留施設を施工して、浸水被害の軽減に努めていくとともに、市民が担う治水対策も指導や啓発を行う。

まちづくり評価シート

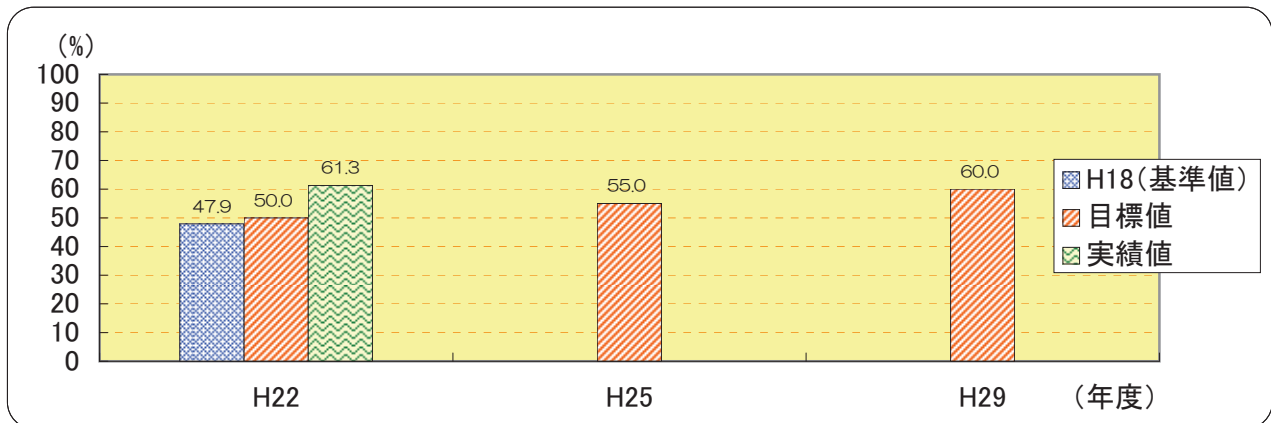
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

土木建築課【担う柱:6 安心・安全な住環境の確保】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されている

指標名	住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析
目標値	%	—	50.0	建築士などと協働により建築パトロールを行ったことや、適切な開発指導を行うことにより、民間開発区域内に適正な道路・緑地及び公園が整備され、周辺的生活環境が保たれたことが評価されたと考える。
実績値	%	47.9	61.3	
達成率	%	—	122.6	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価




住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されていると感じる市民の割合は、平成22年度の目標値50.0%を上回る実績値61.3%を得たことは評価できる。今後、更に民間の建築開発等指導員との協働により違反建築パトロールを実施するなど、施策の推進をお願いしたい。




個別目標① 建築指導及び開発指導の民間組織との協働での取り組みは、安心・安全への住民意識を高揚させている

指標名	開発許可や建築許可に対する指導件数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	260	260	260	・開発行為指導事業
実績値	件	265	236	218	259	
達成率	%	—	110.2	119.3	100.4	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	審査会基準により、地域にあった健全な街づくりに協力している。
市役所	宅地開発等に関する指導要綱の見直しにより、民間活力による安心で安全な街づくりの指導に努めた。




指標名 民間での建築確認割合						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	85.0	88.0	90.0	・建築確認審査等事業
実績値	%	84.4	82.8	90.2	94.9	
達成率	%	—	97.4	102.5	105.4	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	愛知県と愛知県から委嘱された建築開発等指導員(市内建築士)と協働で違反建築物防止のため、建築現場をパトロールした。					
市役所	民間組織での建築確認をチェックし、定期的に建築現場をパトロールした。					

指標名 耐震診断の診断実施済棟数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	棟	—	1,800	2,100	2,500	・民間木造住宅耐震診断事業 ・耐震改修促進計画事業
実績値	棟	798	1,820	1,920	2,018	
達成率	%	—	101.1	91.4	80.7	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	ダイレクトメール及び町内会代表の方、愛知県耐震診断員と協働による耐震診断ローラー作戦などにより耐震診断を受診した。					
市役所	啓発パンフレットを作成し、ダイレクトメール、耐震診断ローラー作戦を実施するなど、耐震化の意識啓発を行った。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>開発許可や建築許可については、これまでどおりの相談が予想されるため、担当職員の知識向上を図り適切な指導を行なう。</p> <p>建築確認に対する相談への対応や民間組織への指導を継続して行い、安全・安心な住環境を確保する。</p> <p>「江南市耐震改修促進計画」の目標達成に向けた耐震診断の受診について、市民や専門家との協働により、耐震化のさらなる情報提供、啓発、普及に係る事業を推進する。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>建築指導及び開発指導並びに木造住宅耐震化の促進に対する民間組織との協働での取り組みにより、住民の安全・安心への意識啓発を図る努力は評価できる。更に安全・安心な住環境を確保できるよう、民間組織と連携を図り、効果的な建築・開発指導等をお願いしたい。</p>	

個別目標② 市営住宅は、住民による施設運営への参加により、安心・安全な生活環境が確保されている

指標名	適切に整備・維持管理がなされている市営住宅の住宅戸数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	戸	—	153	153	153	・住宅維持・管理事務 ・住宅賃貸事務 ・地上デジタル放送移行対策事業
実績値	戸	153	153	153	153	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	施設維持管理(共用部分の清掃、低木の剪定・消毒、草刈り)を自治会で行った。 自治会等で市営住宅の注意事項を確認した。
市役所	住宅設備の保守点検や維持管理及び各種必要な修繕を行った。 地上デジタル放送移行に伴う障害調査を行った。 広報などで空家募集を行い住宅供給を行った。 入居者の異動等を把握し、家賃の決定・減免を行った。 入居者へ文書等により注意事項の周知を図った。

目標達成のための今後の展開方針
市営山王住宅の当初建設住棟は築19年を経過しているため、平成23年度よりプロジェクト事業として改修計画を行っていく。 市営住宅の入居に際しての注意事項を市から入居者へ文書等により周知を図っていくとともに、自治会との協働により徹底していく。

個別目標に対するまちづくり評価
入居者が健康で文化的な生活を送るために、施設の維持管理に努めていることは評価できる。今後、ますます公営住宅の入居希望者は増加すると思われるため、市民への市営住宅を含めた公営住宅の募集案内などの情報提供をお願いしたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

開発指導では宅地開発等審査会設置要綱を改正し、審査会諮問案件を軽減することにより、事務量の軽減を図った。また、民間組織との協働により、耐震診断ローラー作戦を実施し、耐震化の意識啓発ができた。市営住宅は地上デジタル放送移行に伴う支障がなく、保守点検・修繕を行い適切な住宅の維持管理を行うことができた。

◆柱全体の今後の課題

安心・安全な住環境を確保するため、耐震化の必要な木造住宅について、耐震化に向けての更なる意識啓発に努める必要がある。また、市営住宅については、建物の老朽化に伴う大規模修繕が必要であり、市営住宅の適切な運営のために入居者が契約内容・注意事項を遵守するよう努める。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

安心・安全な住環境を確保するため、市民や専門家との協働により、開発・建築指導及び耐震化の啓発活動を行う。また、住宅施策については、市営山王住宅から平成23年度よりプロジェクト事業として改修計画を行い、市営住宅の適切な運営を推進していくために自治会等との協働の方法も検討する。

まちづくり評価シート

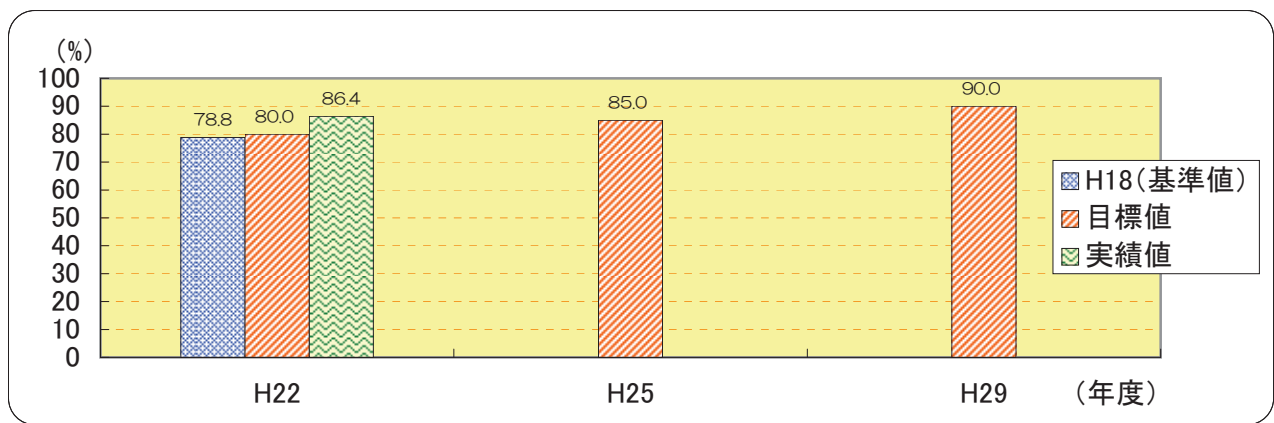
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

水道課【担う柱:7 健全な水道事業経営と安全な水の安定供給】

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 健全な経営と水道施設の整備が行われ安全な水道水が安定的に供給され、市民は安心して利用している

指標名	安全な水が安定して供給されていると感じる市民の割合			実績値の分析
	単位	H18 (基準値)	H22	
目標値	%	—	80.0	給水栓水に問題はなく、大規模な断水事故も発生せず、安定して水道を供給出来ている。このことにより市民が安心して水道を利用出来ていることから、市民満足度調査結果も目標値を上回り、達成率は108.0%となり達成状況としては晴れマークとなった。
実績値	%	78.8	86.4	
達成率	%	—	108.0	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

市民満足度調査結果からも「安全な水の安定供給」に対して8割以上の市民が満足している。今後は、水道施設の耐震化の必要性が高まると思われる。施設の更新及び耐震化を計画的に進めてもらいたい。

個別目標① 水道事業が適正に運営され、健全な経営が行われている

指標名	水道料金の収納率(現年度)					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	↑	↑	↑	・水道料金賦課等事業 ・水道料金賦課等事業(コンビニ収納)
実績値	%	98.4	98.4	98.7	99.1	
達成率	%	—	100.0	100.3	100.7	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	水道料金を速やかに支払った。
市役所	市民のライフスタイルの多様化に伴い、時間や曜日に関係なく払い込みのできるコンビニ収納を実施するため料金システム・歳入システムの改修及び周辺機器のリース契約を行う等し、収納機会の拡大を図った。




指標名		総収支比率				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	106.9	106.5	106.2	・企業会計管理事業 ・職員給与管理事業
実績値	%	109.7	113.0	113.0	116.0	
達成率	%	—	105.7	106.1	109.2	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	収納コストの安い口座振替を利用して水道料金を支払った。					
市役所	江南市経営健全化計画・財政推計を策定し、計画的に事業を執行した。給水収益の増加が見込めないなかで、人件費の削減等を図り利益を確保した。					

指標名		水道普及率				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	89.0	89.1	89.2	・簡易水道事業
実績値	%	88.8	88.9	89.2	89.5	
達成率	%	—	99.9	100.1	100.3	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市の水道事業への統合に向けた話し合いに応じ、市の認可区域への編入に同意した。					
市役所	簡易水道組合との統合に向け協議を行い、事業費の試算やスケジュールなどの検討を図った。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>今後一層の口座振替の利用促進に努める。またコンビニ収納の利便性を生かし早期収納を図る。施設の更新に向けた財源の確保、サービス水準の向上など様々な課題を抱えているなかで今後の安定的・効率的な事業を継続していくため、適正な定員管理や積極的な情報開示、的確な需要予測に基づく計画性・透明性の高い企業経営を推進する。</p> <p>簡易水道組合については、円滑な事業統合に取り組む。</p>	




個別目標に対するまちづくり評価	
<p>安定的・効率的な事業を継続していくため、施設の更新に向けた財源の確保は重要な課題である。公平・公正な水道料金の徴収が、水道事業の健全運営には欠かせないので、今後とも収納率の向上に努めてもらいたい。また、簡易水道組合の統合については、残る3箇所の簡易水道組合が同時に統合できるように努めてもらいたい。</p>	

個別目標② 水道施設が整備され、安定した水道水が供給されている

指標名		配水管改良整備率					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業	
目標値	%	—	75.0	76.4	77.8		・配水管布設・改良事業
実績値	%	72.1	74.9	76.3	77.7		
達成率	%	—	99.9	99.9	99.9		
達成状況	—	—					




取り組みの状況

市民	配水管路の水圧・水量不足や濁水の発生などの情報を提供した。
市役所	配水管路の状況を把握し、第二次配水管改良計画に従い計画的に配水管布設・改良工事を実施した。

指標名		地下水の許可揚水量活用率					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業	
目標値	%	—	94.8	98.0	98.0		・施設維持管理事業 ・取水、配水事業
実績値	%	93.8	91.2	90.0	91.5		
達成率	%	—	96.2	91.8	93.4		
達成状況	—	—					

取り組みの状況

市民	地下水の水質を悪化しないよう環境に配慮した。
市役所	低下した揚水能力の回復を図るため、井戸の浚渫を実施した。

指標名		有収率					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業	
目標値	%	—	91.9	92.2	92.5		・漏水調査事業
実績値	%	91.4	91.5	92.8	94.1		
達成率	%	—	99.6	100.7	101.7		
達成状況	—	—					

取り組みの状況

市民	宅内漏水を発見し、速やかに修繕を行った。
市役所	早期に漏水調査を実施し、発見した漏水箇所を修理した。 検針時に、宅内漏水の有無を確認し、漏水している場合には市民にお知らせした。

目標達成のための今後の展開方針

想定される地震に備えるため、平成23年度から耐震性のある材料を使用する。
地下水の有効利用について、低下率は少なくなってきたが依然として低下傾向であるため、平成23年度より薬品洗浄による浚渫の方法を加える。
有収率の向上のため、有効な手段である漏水調査委託を平成23年度まで実施する。

個別目標に対するまちづくり評価

安全な水道水の安定供給は最も重要な課題である。
配水管を含む水道施設の耐震化を計画的に進められたい。
揚水能力の維持と改善を図り、地下水の有効利用に努められたい。
有収率向上に有効と思われる漏水調査を引き続き計画的に実施されたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

江南市水道事業経営健全化計画に基づき職員数の削減を図れた。給水収益は減少傾向にあるが、職員給与費を削減できたことにより、利益は確保できており経営状況は安定している。
コンビニ収納を実施し、収納機会の拡大を図り利用者の利便性が高まっている。
配水管改良計画どおり実施し、漏水調査により有収率が改善できた。また、揚水能力は、依然として低下傾向であるが、緩やかになった。
簡易水道組合の統合に関しては、協議を続けた結果、市の上水道事業の認可区域への編入については同意が得られた。

◆柱全体の今後の課題

社会情勢の変化、住民ニーズも高度化・多様化している中にあるには引き続き健全な財政運営ができるような事業計画が求められる。
水道施設の老朽化と地震に対応するため、計画的な水道施設の更新と耐震化が求められている。
簡易水道組合の統合に向け、事業計画の策定や厚生労働省への変更認可手続きが必要とされる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

景気の後退や節水型社会への移行に伴う有収水量の減少、施設の更新に向けた財源の確保、簡易水道組合の統合、サービス水準の向上など様々な課題を抱えている。今後、安定的・効率的な事業を継続していくために、適正な定員管理や積極的な情報開示、的確な需要予測に基づく計画性・透明性の高い企業経営を推進する。

<分野別会議 第3分科会>

